

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号:

企画名	大崎上島まちおこしリノベーションプロジェクト（小屋・作業場の設計計画）
実施日	令和 5 年 4 月 1 日（土）～ 令和 6 年 3 月 31 日（日）
実施場所	広島県大崎上島町 旧警察官舎
企画代表者の氏名、所属	氏名：伊藤光介 所属：工学部第四類（建設・環境系）
構成員の氏名	熊子鈺、榎優志、中野瑞希 十河臣吾、茶川祐弥、西岡航生、 山田隼平、佐々木友子、若槻瑠実、李雨烟、佐藤更彩、伊藤光介 竹熊樹、濱野喜史、東山公美、藤田一樹、濱崎礼菜、網島雄真
指導的立場の教員氏名	角倉英明
企画の目的及び内容	<p>○企画の目的</p> <p>本企画は、現在使われなくなってしまった大崎上島町の旧警察官舎におけるリノベーションプロジェクトであり、建物の改修から使い方の提案までを、学生が主体となって行うことを目的とする。</p> <p>また、本企画は大崎上島町や地場の工務店、地域住民と協力して実行する計画であり、建築を通じたまちおこしにつながる活動として期待できる。島に住む方々と共にモノづくりのワークショップを行ったり、住民の倉庫や空き家に眠る木材を本企画の改修に再利用したりする。</p> <p>○企画の内容</p> <p>本プロジェクトは、今後数年間かけて取り組む予定であり、本企画はその第二弾にあたる。今期は、建物の現状把握、プロジェクト全体の企画・立案を行い、改修に着手する。具体的には、次の内容に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 既存建物の実測、構造補強の必要な個所の検討 ② 建物の改修方法・使い方の検討（フィールドワークを含む） ③ 地域住民を交えたワークショップ ④ 改修の実行 ⑤ 作業に円滑に進めるための作業小屋・倉庫を敷地内に作成する。
来場者数	構成員以外の広大生活動参加者、地域住民など、約 15 名
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）	
	本企画は、大崎上島町と、建築学プログラム 都市・建築計画学研究室（角倉・石垣ゼミ）による共同プロジェクトである。
活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）	

① 2023年4月～2024年3月 旧警察官舎の改修

改修に着手し、2月時点で一階内壁と床の解体・新設、二階内壁の解体と断熱の充填の一部が完了した。一階に関しては養生（壁や床、天井を保護するシート）を剥がして掃除をすれば既に居室として利用できる。



② 2023年5月、6月 島民との交流

上島に移住してきて建物を改修し、地域交流の場づくりを行っている建物（観光案内所、ミカタカフェなど）に行き、場づくりにおいて必要なこととお話していただいた。また、その方たちから面白い活動をしている島民や島民が集まるイベントを教えてください、島民と交流したり、改修中・改修後に私たちに協力してくれそうな方と関係を築くことができました。



③ 2023年6月 島の部材集め

地域の方に愛着を持ってもらう建物にするために、地域の方から使わなくなった木材製品などを譲っていただき、それを改修に用いる試みを行った。譲っていただいたものは今後家具などにする予定。



④ 2023年9月～11月 小屋の建設

建材を保管し、休憩スペースにもなる仮設の小屋を建設した。合板などの大きいものを収納できたり、小物を整理するスペースが出来たことで現場環境が整理され、格段に作業しやすくなった上に、人が一階にとどまれるスペースが出来た。また、小屋の休憩スペースが道路に面しているので、散歩中の島民とお話するなど、島民との関係づくりにも繋がった。



⑤ 2024年1月～ アートイベントに向けた島民との打ち合わせなど

2024年GWに御手洗、大崎上島、竹原、呉の複数会場で行われるアートイベントがあり、旧警察官舎がその会場の内の一つになった。大崎上島内には他に約10か所の会場があり、2024/2/5に大崎上島の会場提供者と主催者で行われる打ち合わせに参加した。旧警察官舎で広島大学の教育学部と協力して企画を行う予定であり、企画を通して多くの方に本プロジェクトを知っていただきたい。

(裏面に続く)

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

成果・課題

<成果>

小屋を作成し、用具の整理と材料の保管が出来るようになったことで作業がより安全に効率的に行えるようになった。結果、改修も工程表通りに進み、整備さえすれば一階を居室として利用できるまでに改修できた。

昨年度から行ってきた島内の繋がり作りによって、本プロジェクトに協力的な島民を増やすことが出来ただけでなく、アートイベントへの参加のお誘いもいただいた。改修後に色んな方に使ってもらい、本プロジェクトによって多様な交流を生み出すための素地が出来上がっているように感じる。

<課題>

小屋の休憩スペースを活かしきることが出来なかった。イスや机などの家具を置いてスペースの充実を図ることでより近隣住民との交流を促したり、旧警察官舎でできる活動の幅を広げたい。

今年度は島民との交流はできたが、旧警察官舎でのワークショップの開催まで至らなかった。来年度は工事も完成に近づいており、壁塗りのワークショップなどもできると考えている。

実施風景 (写真)



【提出方法】指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

E-mail でも受け付けます。

【提出先】工学系総括支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)